

しらぬか暮らし。

ふるさと白糠町へUターンし、定住を決めた北野桃香さんへインタビュー

幕別町からふるさと白糠町へ。

2021年、北野佑真さんと結婚し、現在は白糠町で2人の子どもと4人で暮らしている北野桃香さん。

池田町出身の北野佑真さんと、白糠町出身で釧路短期大学卒業後、帯広市の保育園に就職した桃香さんは、2年前まで幕別町で暮らしていました。

桃香さんは、長女の葵夏ちゃんを授かった頃、佑真さんから「運転手に転職したい」と相談を受けました。桃香さんの運転手に対するイメージは「仕事が夜遅くまで続いている」「家になかなか帰って来られない」というものでした。幕別町では近くに頼れる人がいなかったことから、夫婦で話し合っ

子育てしながらでも働ける環境を。

出産祝い金の他にも18歳までの医療費の無料化や給食費の無料化、産前産後ケア事業など、本町にはさまざまな子育て支援があります。こうした子育て支援のことは知らずに白糠へ戻ってきた桃香さん。「ゴミ袋を支給されたり、新生児用の防災用具が支給されたりと、本当にすごいですよね、とてもありがたいです」と、驚きと感謝を口にします。

一方では、帯広市の保育園とを

た結果、桃香さんの実家がある白糠町で暮らすことに決めました。「夫が家に帰って来られなくなると、他に頼れる人がいないので、出産や子育てに不安がありました。でも白糠ならば私の親もいるし姉もいるので安心できます。夫に話をしたら快く『いいよ』と言って

くれたので、白糠に戻って、夫はこちらで運転手の仕事を探すことにしました」

現在、佑真さんは釧路市内でトレーラーの運転手として働いています。「子どもは白糠で産んだので、町から出産祝い金をいただきました」と桃香さん。桃香さんは



きたのももか
北野 桃香さん
白糠小、白糠中学校、釧路明輝高等学校卒業。釧路短期大学で保育士の資格を取得し、現在は庶路こども園に勤務。佑真さんと長女の葵夏ちゃん(2歳)、次女のおとは桜羽ちゃん(1歳)との4人暮らし。趣味はドラマを観ること、子どもと遊ぶこと。

比較し、こう話します。

「帯広市のほとんどの保育園では土曜日も19時まで保育が受けられますが、白糠町では午前中のみです。出産後に働きたいという女性が多くいると思いますが、土曜日に子どもを預けられないため、そのことを就職先の面接で説明すると採用されないことがあります。実際に私の知り合いにもそういうことがあります。私は保育士なので、土曜日は仕事を休みたいという思いもあるのですが、働きたいのに働けないという環境は改善できないのかなと思います」

実際に子育てをして、ありがたみを実感。

6月上旬、北野さん夫婦の家の改修工事が始まりました。白糠町での定住を決めたのです。

「夫は自分の職場が釧路市にあるので、市内に住みたいと言っていたのですが、将来的なことを考えると白糠の方が良いのではないかとこの話をし、それで白糠に家を建てることにしたのです」
北野さん夫婦は、町が移住定住施策として行っている町有地の無償提供を活用し、そこに家を建てることも考えたそうです。

「土地が無料ってすごいことですよ。しかも学校から近い場所にありますし、面積も広い。私たちが町有地の提供を受けようと考えたときには、ほとんどの土地が残っていないので諦めたのですが、親の土地がなければ、今こうして家を建てることもできなかったと思います。家を建てたいと考えている子育て世帯には、とてもありがたい制度ですね」

北野さんは、白糠町に戻ってきたことをどのように感じているのでしょうか。

それまで、白糠町のさまざまな子育て支援のことをほとんど知らなかったと言います。

「姉は釧路市で子どもを産んでいたのですが、白糠の出産祝い金のこととは知らなかったのです。他の子育て支援のこともあまり詳しくなかったもので、話を聞くことがありませんでした。私は保育士なので、保育料が無料ということは知っていたのですが、それ以外のことは知らなくて、出産祝い金をいただいたときは、本当に驚きました。本年度から出産祝い金が5万円から10万円に増えたじゃないですか。夫には話していませんが、3人目の子どもを考えています(笑)。出産祝い金があるから産むということではないのですが、後押しにはなりますよね」

あんのうりな
いとこの安濃凛々菜さん(白糠4年)と一緒に。



「隣町まで車で行かなければ、欲しい物が買えないとか、そういう不便さはありますけれど、子どもたちを自然豊かなところで伸び伸びと育てることができるのは、白糠にいるからだと思うのです。幼児教育もそうですが、最初は、今は幼児の段階から教育を受ける時代なんだと思っていました。でもそうではなくて、白糠独自の取り組みなんだというのを知って驚きました。私は庶路こども園で保育士をしていますので、いつも園児たちが平仮名や英語の勉強をしているのを見て感心しています。白糠には田舎というイメージがあるって、友だちから『白糠には何があるの?』と聞かれることもあり、ですが、子育て支援の話をしただけで、『白糠に移住したい、でも仕事があるから移住できない』って。自分が子育てをするようになって、いろいろなことを知り、白糠ってすごいなと誇れるようになってきました。買い物で町外へ出かけなければならなくても、私は喜んで白糠に住みます。白糠に戻ってきて本当に良かったと思っています。もう家も建てているので、永住ですね(笑)。」

